

特別展

## 奇才——江戸絵画の冒険者たち——

### CONTENTS

- エッセイ「展覧会の喜び」 東京都江戸東京博物館 館長 藤森照信
- 2020年度 企画展・特別展ラインナップ
- 企画展 市民からのおくりもの2019 —平成30年度 新収蔵品から—



## 「展覧会の喜び」

東京都江戸東京博物館館長 藤森 照信



2020年は当館にとってひとつの節目となる年ではないかと考えています。新年を飾った展覧会は「大浮世絵展—歌麿、写楽、北斎、広重、国芳 夢の競演」で、当館はむろん日本と世界の主要美術館から名品を集めました。展示作品の選択と交渉の労をとってくれた国際浮世絵学会によると、もうこれだけの質の高い作品の借用は最後になるかもしれないとのことでした。世界的に浮世絵の人氣は高く、しかし、絵の保存を考えると展示期間は限られ、ますます良品の展示は難しくなっていくようです。

東京2020オリンピック・パラリンピックの期間中は、「大江戸の華」展を開催します。文字通り、当館がこれまで集めてきた36万点におよぶ収蔵品の中から優品・初出品をお見せします。何が選ばれるか今から楽しみです。オリンピックのあとは、「縄文—東京の縄文人、1万年の暮らし—」展を開催します。東京を中心にわれわれの祖先がどのように暮らしていたかを東京都埋蔵文化財センターと

一緒に企画して展示します。縄文時代の東京圏に大きな影響を与えた中部山岳地帯から、国宝の土偶もやって来る予定です。

当館は、今後、大規模改修のために休館を予定しています。

建築は、設備、仕上げ、構造の順に老朽化を迎えます。建築の設備は人体に例えると同様に循環器に相当し、人体同様その老化が早いだけでなく、設備機器の進化が速いので、旧式の機器ではエネルギー上もメンテナンスも無駄が多くなります。

さまざまな設備を血管、神経、呼吸器、消化器などと考えるとわかりやすいのですが、このような設備の更新は、休館して直すしかありません。この機会を利用して、展示中の大型模型などの更新も予定しています。本年はこのような準備も進めていくこととなります。

江戸東京博物館はより充実した展示でみなさまをお迎えいたします。どうぞ楽しみにしてください。

## 2020年度 企画展ラインナップ

## 常設展示室内 5F企画展示室

●常設展観覧料でご覧になれます。  
※展覧会名及び会期は、変更する場合があります。

① 市民からのおくりもの  
2019

2020年  
3月10日(火)～5月10日(日)

② 発掘された日本列島  
2020

2020年  
6月6日(土)～8月10日(月・祝)

③ 大東京の華

—特選! 江戸博ベストコレクション—

2020年  
8月25日(火)～11月23日(月・祝)

④ 徳川宗家2020展

2021年  
1月2日(土)～2月23日(火・祝)

⑤ 市民からのおくりもの  
2020

2021年  
3月9日(火)～5月9日(日)

本年はいよいよ東京2020オリンピック・パラリンピックが開催されます。大会を盛り上げる文化プログラムの一環として、江戸東京博物館では、オリジナリティあふれる特別展を開催します。

※展覧会名及び会期は、変更する場合があります。

①「奇才」

—江戸絵画の冒険者たち—

2020年  
4月25日(土)～6月21日(日)

※次頁の特別展紹介をご覧ください。

②「大江戸の華」

2020年

7月11日(土)～9月22日(火・祝)

武家や商人ら都市江戸に暮らした人々の儀礼や祭礼、婚姻など、「ハレ」の場面や舞台に注目し、活発にして明るい江戸のすがたを明らかにします。

当館が所蔵する資料の中から優品・初出品の資料を中心に展示を構成し、「江戸博コレクション」として紹介します。とくに、華やかで大きな資料を重点的に展示。東京2020大会を機に東京を訪れる国内外の来館者にもわかりやすく楽しめる展覧会です。



ぎんこざねしろいたがひまるどろくまく  
銀小札白糸威丸胴具足  
江戸時代中期 江戸東京博物館蔵  
資料番号 98200295～98200304

③「縄文—東京の縄文人、1万年の暮らし—」

2020年  
10月10日(土)～12月6日(日)

東京都埋蔵文化財センターと国立歴史民俗博物館の特別協力により、「東京の縄文」をテーマとした展覧会を開催。縄文時代を生きた人々の「暮らし」の暮らしぶりを伝えます。江戸の暮らしや文化を振り返る礎として、その源流とも言うべき東京の縄文人の生活に焦点をあてます。

これまで江戸東京の様々な暮らしや文化を歴史資料に基づいて復元・再現してきた当館ならではの視点から、縄文時代の出土品を展示するとともに、それらが使用されていた生活空間や実際の使用方法などを復元・再現し、紹介します。



じせいみかざり  
重要文化財 土製耳飾  
縄文時代(晩期) 江戸東京たてもの園蔵  
資料番号 99342561

④「古代エジプト展 —天地創造の神話—」

2021年  
1月2日(土)～4月4日(日)

世界有数の古代エジプトコレクションを誇る、ベルリン国立博物館群。その収蔵品から「神々の世界」「ファラオたち」「最後の審判」などをテーマとした作品を選りすぐり、従来にはない「古代エジプト神話」に焦点を当てた展覧会です。

ベルリン国立博物館群とは、ベルリン市内の「博物館島」にある博物館・美術館の総称です。本展では、映像などにより神話の世界を疑似体験できる演出を行うとともに、個性的な造形美を成す作品等を通して壮大な文化を体感できる展示とします。都市博物館の当館で、ベルリン国立博物館群の所蔵品を展示し、姉妹友好都市である東京とベルリンのさらなる友好と交流の進展に寄与します。



バシグのミイラ・マスク  
ベルリン国立博物館群蔵  
© Staatliche Museen zu Berlin, Ägyptisches Museum und Papyrussammlung Berlin / Margarete Büsing



特別展

# 「奇才——江戸絵画の冒険者たち——」

4月25日(土)～6月21日(日)  
1階特別展示室

\*会期中に展示替えがあります。

従来、江戸絵画史においては、流派が重視され、各流派の様式からはみ出した絵師たちは、その通史の中で異端とされてきました。

しかし、既成の殻を打ち破り自由で斬新な発想をする絵師たちを、歴史の流れの中で、「奇想の系譜」として見直そうという動きが、1960年代末頃から活発になりました。それにあわせて、異端・異色の絵師たちと名づけられた展覧会や出版物なども登場します。全国各地に美術館・博物館が新設された1970年代以降、郷土に埋もれた個性的な絵師たちが次々と発掘され、現在に至っています。こうした奇想の絵師たちを既成の枠を打ち破った絵師とするならば、装飾性を絵画の世界



かんまちまつり やたいてんじょう え 女浪  
上町祭屋台天井絵 女浪  
葛飾北斎/画 小布施町上町自治会蔵(北斎館寄託)

に持ち込んだ俵屋宗達や尾形光琳、写生の新しい方向を試みた円山応挙といった従来の通史で取り上げられてきた絵師たち

も「奇想」の系譜に含める必要  
があります。

従来は、そうした観点から、  
従来の有名、無名の絵師たちを

見直し、斬新な表現に挑んだ「奇才」の絵師として、一堂に集め紹介する本邦初の試みです。京都・大坂・江戸の三都はもちろん、北は松前、南は長崎にいたる国中の「奇才」35名を集める本展は、従来の江戸絵画史の概念を打ち破り、その書き換えのきっかけとなることでしょう。

みどころ1  
宗達も、光琳も！  
応挙も、大雅も、蕪村も！！  
みんな「奇才」だった

昨今、伊藤若冲、長澤蘆雪、曾我蕭白、歌川国芳ら、過激で強烈な個性を放つ絵師は、国際



おみかたえそ の ず  
御味方蝦夷之図 イコタイ  
蠣崎波響/画 函館市中央図書館蔵  
展示期間:4月25日(土)～5月24日(日)

的に大きな注目を集めていま  
す。しかし、彼らに限らず、これ  
まで江戸絵画史において「主流  
派」として位置づけられてきた  
絵師たちも、斬新で個性的な絵  
画表現を追い求めていました。  
そこで俵屋宗達や尾形光琳、円  
山応挙など、江戸絵画史を代表  
する絵師たちの「奇才」と呼ぶ  
にふさわしい作品を選びすぐ  
り、紹介します。

## みどころ2 全国の「奇才」大集合！ こんなに集まるのは初めて

新しい表現を追い求めた絵師  
たちは、京都・大坂・江戸の三都  
にとどまらず、全国各地で活躍  
していました。本展では、松前  
(北海道)を代表する蠣崎波響、  
仙台の菅井梅閑、「絵金」こと高  
知の絵師金蔵、長崎で生まれ鳥

取で活躍した片山楊谷など、今  
もそのゆかりの地で愛され続け  
ている「奇才」絵師の作品が、日  
本全国から大集合します。

## みどころ3 あなたの「江戸絵画観」が 変わるかも!?

本展では、つい最近発見され  
た若冲「鶏図押絵貼屏風」をは  
じめ、北斎「上町祭屋台天井絵

女浪」、狩野永岳「西園雅集図  
舞良戸(貼付)」、山口・神田等謙  
「西湖・金山寺図屏風」など、東  
京ではなかなか観られない作品  
が目白押しです。独自の道を模  
索し、新境地を開いた「奇才」絵  
師によるバラエティーに富んだ  
作品との新たな出会い！あな  
たの「江戸絵画観」が変わるかも  
しれません。

## ここに集いし、江戸時代の 奇才35絵師

江戸時代の「奇才」絵師を全  
国各地から集結させる本展。総  
勢35名の「奇才」作品に圧倒さ  
れることでしょう。東京が世界  
の注目を集める五輪イヤヤーに開  
催するにふさわしい展覧会で  
す。(学芸員 江里口友子)



ばんしゅうさら やしき てつざんしち やしき  
播州血屋敷 鉄山下屋敷  
絵金/画 高知県香南市赤岡町横町二区蔵  
展示期間:5月26日(火)~6月21日(日)



ちつこ ずひょうぶ  
竹虎図屏風(左隻)  
かたやまぶくろく  
片山楊谷/画 鳥取・雲龍寺蔵  
展示期間:5月12日(火)~5月24日(日)

## information

### 特別展

## 「奇才——江戸絵画の冒険者たち——」

開館時間:午前9時30分~午後5時30分(土曜日は午後7時30分まで)

※入館は閉館の30分前まで

休館日:月曜日(ただし5月4日・18日は開館)

※会期中に展示替えがございます。

主催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、読売新聞社

観覧料(税込)	特別展専用券	特別展・常設展共通券	特別展前売券
一般	1,400円(1,120円)	1,600円(1,280円)	1,200円
大学生・専門学校生	1,120円(890円)	1,280円(1,020円)	920円
中学生(部外)・高校生・65歳以上	700円(560円)	800円(640円)	500円
小学生・中学生(都内)	700円(560円)	なし	500円

※( )内は20名以上の団体料金。

※次の場合は観覧料が無料。未就学児童。身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方と、その付き添いの方(2名まで)。

※小学生と都内在住・在学の中中学生は、常設展示室観覧料が無料のため、共通券はありません。

※シルバーデー(5月20日、6月17日)は、65歳以上の方は特別展観覧料が無料です。年齢を証明できるものをご提示ください。

※前売券は2月8日(土)から4月24日(金)まで販売。4月25日(土)から会期中は当日料金で販売。

〈チケット販売所〉江戸東京博物館、主要プレイガイド、コンビニ店頭など(手数料がかかる場合があります。)

※特別展・常設展共通券の販売は江戸東京博物館のみ。



企画展

# 市民からのおくりもの2019

## —平成30年度新収蔵品から—

3月10日(火)～5月10日(日)

常設展示室 5F企画展示室

＊会期中に一部資料の展示替えがあります。

当館では、江戸東京の歴史と文化に関する資料を収集し、それらを未来へ伝えるために保存管理しています。また、資料が持つ様々な情報について調査研究を行い、その成果を展示などで公開しています。

本展は、当館が新たに収蔵した資料をみなさまにご覧いただく展覧会です。平成30年度は、寄贈資料を含め、全1807点の資料を当館の収蔵品に加えることができ

ました。資料をご寄贈くださった方々への感謝の意も込めて、この中から厳選してご紹介いたします。

今回の注目資料は、2代将軍徳川秀忠の肖像画(展示期間：3月10日～4月5日)です。秀忠ゆかりの寺院である京都・知恩院が所蔵する肖像を、幕末期に復古大和絵の絵師冷泉為恭が模したものと伝えられています。徳川宗家に伝わる秀忠の紙形(肖像画の下絵)の風貌

に酷似していることから、秀忠像を忠実に再現したと考えられています。徳川歴代将軍の中で、初代家康は数多くの肖像が残されていますが、2代秀忠以降は極端に少なく、稀な肖像画です。

近現代資料では、1923年(大正12)9月1日に発生した関東大震災関係の資料を多数収蔵いたしました。行政機関などが配布した文書類や震災を報道する新聞、当時配布されたポスターやビラ類など、地震の発生から復興までの貴重な資料をご紹介します。

さらに14代将軍徳川家茂の正室和宮が所用した葵紋と葉菊紋が施された銀製茶碗、明和の美人として名高い笠森お仙を描いた鈴木春信の錦絵(展示期間：4月7日～5月10日)、永代橋や銀座などの東京風景を写した明治の古写真、

1954年(昭和29)から1957年(昭和32)にかけて東京の名所を上空から撮った写真なども展示します。

歴史を物語る古文書から、生活に身近な資料にいたるまで、バラエティー豊かな江戸博コレクションの世界をお楽しみください。

(学芸員 栗屋朋子)



徳川秀忠像 冷泉為恭/画 江戸末期  
資料番号 18200736  
展示期間：3月10日(火)～4月5日(日)



永代橋  
明治初期 資料番号 18750035



ポスター 江戸っ児の手並は 復興帝都の檜舞台  
大正末期 資料番号 18200126

## 教育普及

# 「ふれあい体験教室」に参加してみませんか

「ふれあい体験教室」は、当館の「ふれあいスタッフボランティア」が講師となつて開催するワークショップです。ふれあいスタッフは、藍染、ガラス工芸、歌舞伎、キモノ、昔遊び、歴史民俗、歴史散歩、浮世絵の8班からなり、土日を中心に、趣向を凝らした教室を開催しています。

昨年11月には、「神田上水関口大洗堰跡と付近の大名庭園を訪ねる」というテーマで、歴史散歩を実施しました。爽やかな秋の一日、江戸川公園から椿山荘庭園、肥後細川庭園、和敬塾など16地点を訪ねるコースを2時間かけて歩きました。一人ではなかなか訪れる機会のない名所を、ふれあいスタッフの解説のもと、20名の参加者で回ると、新たな発見やひと時の交流があり、最終地点に到着した時には、軽い運動をした後のような爽快感を感じる事ができました。

ふれあい体験教室では、歴史散歩の他にも、ものづくりや伝統文化体験など、皆様の興味、関心に応えられるような教室を多数開催しています。詳しくは、裏表紙の「催し物のご案内 春期ふれあい体験教室」でご確認ください。皆様のご参加をお待ちしています！



「歌舞伎の化粧をしてみよう」



「江戸切子体験教室」



「歴史散歩」

## ミュージアムトーク

常設展示室のみどころを学芸員が解説します。

- 日時：毎週金曜日16:00から
- 常設展示室5階の日本橋下までお集まりください。所要時間は約30分です。
- 変更になる場合がありますので、最新の情報は当館HPでご確認ください。

高校生も楽しめるミュージアムトーク	4月3日
「市民からのおくりもの2019」展	4月17日、5月1日
文化都市江戸	4月10日、4月24日
文明開化東京	5月8日、5月15日
江戸の美	5月22日、5月29日
町の暮らし	6月5日、6月12日
モダン東京	6月19日、6月26日





# 新収蔵品の紹介

## 1 徳川將軍家の威光を示した華麗な法要

8代將軍徳川吉宗は、1745年(延享2)3月13日から17日までの5日間、江戸城内紅葉山東照宮で徳川家康の百三十回忌にあたる法要を盛大に営みました。本図はそのなかで中日にあたる3月15日の「大行動」という行列の様子を描いたものです。

將軍吉宗と嫡男家重、輪王寺宮門跡公遵親王が乗った輿の前後を多くの家臣が警護する様子が描かれた、全長16メートル余にわたる行列図は圧巻です。しかも、一人ひとりの顔や衣装の文様が精緻に描き分けられています。また、吉宗ら3人が乗る輿には金具の部分に金や漆をのせるなど、絵画的にも細やかな技術を見ることができま

す。徳川氏の法要の様子や、華やかな武家の装束を知ることができる貴重な作品です。



紅葉山八講法会図巻 江戸中期 資料番号 1920001

## 2 酒井抱一の文化サロン「雨華庵」に掲げられた木額

江戸を代表する絵師、文人の酒井抱一(1761~1828)は、1809年(文化6)、49歳のとき下谷大塚に居を構えます。「雨華庵」と称されたそこは、抱一の活動の拠点となると同時に、江戸琳派の絵師達の学び舎となり、同時代の文化人たちの交流の場ともなりました。

本資料はその庵門に掲げられた木額で、抱一の甥、酒井忠実(1779~1848)が揮毫したものです。1927年(昭和2)に雑誌に掲載されて以来行方が知られていなかったこの木額をはじめ、抱一と周辺の人々との交流を伝える絵画や工芸品、計5点を新たに収蔵します。重要文化財「蔓梅擬目白時絵軸盆」をはじめとする当館の抱一関係資料が、一層充実することとなりました。



「雨華庵」額  
酒井忠実/書  
1817年(文化14)  
資料番号 19200024

令和元年度も、みなさまのご協力によって、多くの博物館資料を収集することができました。その一部をここに紹介いたします。

\*各資料の解説は、眞下祥幸、春木晶子、江里口友子、落合則子、田中裕二が担当しました。



### 3 散逸した婚礼調度が 再び出会った

黒漆地金蒔絵の七宝繫文様に、葵紋と輪蝶紋、鶴亀松竹梅蒔絵が施された婚礼調度のうちの二つです。黒棚は、主に櫛箱、眉作箱、元結箱など女性の化粧道具を飾りました。

当館は、平成22年度に小櫛箱、焚物壺、火取香炉、小文箱、沈箱、短冊箱、小箱7点を収蔵しましたが、これらと同じ意匠で、同一の婚礼調度とみられます。蒔絵と家紋などから、水戸徳川家の斉昭九男・茂政と備前岡山藩8代藩主池田慶政の長女・萬壽子の婚礼に際してしつらえたものと考えられます。婚礼は、1864年(元治元)に行われ、その4年後に萬壽子は他界しました。散逸した二具の婚礼調度が再び出会うことは貴重です。



黒いしつぽうつなまきまき えくるたな  
葵蝶紋鶴亀松竹梅七宝繫蒔絵黒棚  
1864年(元治元)頃 資料番号 19200025

### 4 海舟の父が語る 『父子鷹』の世界

勝海舟の父・小吉(1802~1850)が、自身の半生を語った自伝です。子母澤寛の小説『父子鷹』を通じて有名になりました。

小吉は、旗本男谷平蔵の三男として生まれ、7歳の時、旗本勝家の養子となりました。少年時代から奔放な気性で周囲を困らせ、仕官を試みるもかなわず、得意の剣術を生かし市井の人として生きました。

「夢酔独言」は、幕末前夜の江戸に生きた武士の暮らしと人間模様、そして当館のある本所地域の情景を描写しています。本



資料はこの著作の原本です。海舟の次女疋田孝子の所蔵から、疋田家と姻戚関係にあった旧幕臣で文学者の戸川残花の長男浜男氏に伝えられました。



むすいどくげん  
夢酔独言  
勝小吉/著 1843年(天保14)  
資料番号 19000103

### 5 幻のオリンピック 東京の魅力発信！

東京市がオリンピック招致活動のために制作したアルバムです。IOC委員を務めた柔道の創始者、嘉納治五郎らの活躍により、1936年(昭和11)7月のIOC総会で、アジアで初めての東京大会開催が決定しました。1940年(昭和15)に開催を予定していましたが、日中戦争の激化に伴い開催権を返上し、幻の東京オリンピックとなりました。

日本が初めてのオリンピック招致に際し、東京をどのように世界にアピールしたのかがわかる資料です。関東大震災から復興した東京の街並み、風景、競技場などの施設、日本の武道等を紹介する写真が収録されています。嘉納治五郎が招致活動の際、自らもこのアルバムを配ったという逸話が残っています。



Tokyo Sports Center of the Orient  
(東洋のスポーツ中心地東京)  
Tokyo Municipal Office(東京市)/発行  
1933年(昭和8) 資料番号 19200030

# 中国人の見た昭和初期の東京

専門調査員

松野友美・文

江戸・東京を多角的に捉えられた  
江 戸・東京を多角的に捉えられた  
め、外からの視点による史料を  
用いて描出する試みが、当館でも行わ  
れている。今回ご紹介するのは、昭和  
初期に東京を訪れた中国人を通して  
見える東京の姿の一端である。

日清戦争で日本が清朝に勝利して  
以降、中国にとって隣国である日本  
は、欧米列強の近代化を吸収するた  
めの媒介として、重要な留学先の一  
つとなった。中でも東京には多くの学  
生が訪れた。彼ら来日中国人の残し  
た記述からは、異文化としての東京  
の姿が浮かび上がる。

例えば、東京の一般家屋の狭さは、  
広大な土地に暮らす中国人には驚き  
だったようだ。東京の家屋は、すべて  
薄い木片、木の板でできており、その  
姿はまるで「マツチ箱」、「弁当箱の類  
を大きくしたようなもの」と形容さ  
れる。このほか、「突然にみすばらし  
く狭い木造家屋に住むことになり、  
魚が鍋の中で泳ぎ、鳥が籠の中に入っ  
たようで、座つても立つても場所がな  
いように感じられた」と、東京で暮ら  
し始めた当時を振り返る者もいる。

日本にも、もちろん大きな建造物は  
存在する。ただし、やはり大陸と島  
国とは、規模に違いがあったのだろ  
う。スケールの差に対する指摘は、廟  
での祭祀活動にまで及ぶ。とある中  
国人は、浅草寺で日本の参拝方法を  
目にし、「献上する供物は極めて少な  
い果物に限られていて、寄付金は多  
くとも1、2円を超えない。燃やし  
ている白い蠟燭は、長さが筆の鞘に等  
しく、しかも筆の鞘よりもまだ細い」と述べる。

もちろん、四季の美しさや、人々の  
感性の豊かき、町や生活の清潔さな  
ど、東京や日本人の美点に目を向け  
た記述も少なくない。その一方で、来  
日中国人たち自身に向けられた眼差  
しは、必ずしも友好的なものばかり  
ではなかった。日中関係が緊迫し、日  
本の影響・軍事力が中国において拡  
大していく中で、東京において差別的  
な対応をとられ、悲痛な思いをした  
中国人も存在する。来日中国人の残  
した記述は、東京が異文化に対して  
どのように応対してきたのか、浮か  
びあがらせる一つの材料にもなろう。

日中の関係は、近隣であるがゆえ  
に困難もつきまとう。それでも、中  
国に「知日」という言葉があるよう  
に、日本に関心を向ける中国人も少  
なくない。2018、2019年  
に、それぞれ当館と北京の首都博物  
館とにおいて、両都市を比較する交  
流展が行われた。展示を通じた文化  
の交流、相互理解の機会が今後も継  
続されることを願う。



浅草寺境内(浅草)  
昭和30年代  
資料番号 12650849



下町の庶民住宅 復元年代:昭和初期  
当館常設展示室5階東京ゾーンの模型。  
昭和初期、庶民の暮らしぶりを再現したもの。





## 「第18回 日中韓博物館国際シンポジウム」と 企画展「18世紀ソウルの日常」

### 「ユマンジュ日記の世界」を開催しました

当館では2019年10月22日（火）に「第18回日中韓博物館国際シンポジウム」を開催しました。このシンポジウムは、2002年以来、当館と北京・首都博物館、ソウル歴史博物館、瀋陽故宮博物館が毎年持ち回りで開催してきたもので、現在に至るまで3ヶ国4館で18年間にわたって継続しています。今回、当館で開催したシンポジウムでは「都市機能と博物館」というテーマのもと、都市発展に対し博物館がどのように貢献できるのかについて各館の工夫を凝らした活動が報告され、活発な意見交換が行われました。

また各館との相互交流の成果の一つとして、今年度はソウル歴史博物館とはじめての交流展「18世紀ソウルの日常—ユマンジュ日記の世界—」を5階企画展示室で開催しました（2019年10月23日～12月1日）。この展覧会では、両班の家に生まれた青年ユマンジュ（兪晩



ユマンジュの書齋の再現模型

柱）が「欽英」と名付けた13年間にわたる日記のうち、1784年の1年間を取り上げ、その暮らしぶりを人々が実際に使った日用品などとともに紹介しました。来場者からは18世紀ソウルの人々の暮らしをユマンジュを通してうかがい知ることができたというような感想がありました。

当館は、今後も海外の博物館との文化交流を積極的に行うなど、多彩な博物館活動を展開してまいります。



### 図書室から お知らせ

## 本の「健康チェック」 — 図書室の裏側で —

当館の図書は博物館資料としての永久保存を目的に収集しています。次世代に資料を伝えるにはどんな作業があるのでしょうか？裏方をのぞいてみましょう。

今年度、図書室では、特に貴重書として保存している当館収蔵庫内の約2万点の図書資料の状態確認作業を行ってきました。1点1点目で確認し、内容や状態をチェックします。「要注意」と判断した書籍は、写真を撮影し、状態チェックカードを作成します。人間のカードと同じですね。傷みが激しい図書は修復を行います。この修復後の状況もカードに記入します。

本当に地道な仕事ですが、本の滲みや書き込みから元の所有者の姿が窺えるなど、楽しみもありません。作業の際は、書籍のタイトルを読み上げますが、本だつて名前を呼ばれるのは嬉しい—呼ぶことで

本に活力を与えているようにも思えます。

資料を扱う際は、技術以前に魂のある物として接する気持ちが大切です。物には魂が宿る—これは古来から日本人にある考え方のひとつです。博物館もその気持ちを大切にしています。

（学芸員 友野千鶴子）



図書資料の状態をチェックし、記録をとる作業の様子



指さし会話帳

『指さし会話帳』を  
使っています！

年々増え続ける外国からのお客様に向けて、昨春から新たに多言語対応コミュニケーションツール『江戸東京たてもの園 指さし会話帳』を導入しています。外国語に自信がないけれど、必要な情報を伝える手段はないものか、という声から生まれたこの手帳。ややもすれば時代の逆を行く紙媒体と揶揄されそうですが、手帳を介せば咄嗟の注意なども速やかに伝わる「スマート・ツール」です。すでに採用している各種交通機関の事例などを参考にして制作しました。

携帯しやすいA6サイズ・28ページの手帳には、園内で頻繁に使う会話を厳選した最小限のフレーズと単語を詰め込み、日本語・英語・中国語(簡体字・繁体字)・韓国語の5言語をイラストと共に記しています。

案内、警備、シヨップ、レストラン、ボランティア、園内全てのスタッフがこの手帳と笑顔を持って、国内外からのお客様をお待ちしております。

## 催し物のご案内

## 春期ふれあい体験教室

- 講師：ふれあいボランティア ● いずれも参加無料(ただし常設展示室は観覧券が必要)
- 変更・中止の場合は当館ホームページでお知らせいたします。

## 事前応募制教室 開催場所：1階会議室(「歴史散歩」を除く)

## ● 歴史散歩「日本橋を中心とした名所江戸百景散歩」

日時：5月31日(日) 13:00~16:00

\*荒天時は6月7日(日)に順延

対象：一般

定員：20名

応募締切：5月15日(金)



歴史散歩

方法  
お申し込み

往復はがき(63円×2=126円)にて下記①~⑤を明記の上、ボランティア事務局までお申し込みください(締切日消印有効/1講座につきハガキは1枚)

①希望講座名 ②住所 ③氏名(ふりがな/2名様まで) ④年齢 ⑤電話番号

〒130-0015 墨田区横綱1-4-1

江戸東京博物館 ボランティア事務局 ふれあい体験教室係

## ● 親子で作ろう「ばたばた」

"バタバタ"と音立てて手品みたいに模様が変わる、不思議な伝承おもちゃ「ばたばた」を作ろう!

日時：7月19日(日) 13:30~15:30

対象：小学3年生~6年生

定員：保護者・子供12組(24名) 大人と子供で協力し合って作品を作ります

応募締切：7月3日(金)

親子で作ろう「ばたばた」



## 当日受付教室 開催場所：常設展示室5階ミュージアム・ラボ 【5月16日(土)「春の藍染体験教室」と5月23日(土)「手描き風鈴を作ろう」を除く】

## ● 歌舞伎の鳴り物を鳴らしてみよう

日時：4月18日(土)、5月16日(土)

各日①13:00~13:30 ②14:30~15:00

対象：3歳以上

## ● 春の藍染体験教室

日時：5月16日(土) 13:30~15:00 (13:20より整理券配布、先着順)

場所：3階江戸東京ひろば北側休憩所 \*荒天などによるひろば閉鎖時は中止

対象：小学生以上 定員：50名

## ● 手描き風鈴を作ろう

日時：5月23日(土) ①10:00~11:00 ②11:10~12:10

(各回15分前より受付開始)

場所：3階江戸東京ひろば北側休憩所 \*荒天などによるひろば閉鎖時は中止

対象：小学3年生以上 定員：各回10名

## ● 和算パズル

日時：6月13日(土) 13:00~15:30 (受付終了15:00)

対象：小学4年生以上

## ● 反古紙で折る小物

—江戸のエコロジーを見習おう—

日時：6月13日(土) 13:00~15:30 (受付終了15:00)

対象：小学生以上

## ● ミニ万華鏡を作ろう

日時：6月27日(土) 10:30~12:00 (15分前より受付開始)

対象：一般(幼児は大人と一緒に) 定員：30名



ミニ万華鏡を作ろう

## 駐車場・駐輪場使用中止のお知らせ(2020年4月1日~2020年9月末)

2020年4月1日~2020年9月末(予定)の期間、国技館での東京2020オリンピックのボクシング競技の会場設営のため、当館の駐車場及び駐輪場が使用できなくなります。お客様には大変ご不便をおかけいたしますが、公共交通機関をご利用くださいますようお願い申し上げます。車でご来館予定の身体障害者手帳等をお持ちの方は、事前に当館にご相談ください。江戸東京博物館 電話：03-3626-9974(代表)

## 江戸東京博物館 NEWS vol.108

お問い合わせ 03-3626-9974(代表)

ホームページ <https://www.edo-tokyo-museum.or.jp>

来館のご案内 JR総武線「両国駅」西口から徒歩3分  
都営地下鉄大江戸線「両国駅(江戸東京博物館前)」A3・A4出口から徒歩1分  
都バス錦27・両28・門33系統 墨田区内循環バス南部ルート「都営両国駅前(江戸東京博物館前)」下車、徒歩3分

発行日 2020年3月13日(金)

編集・発行 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館  
〒130-0015 東京都墨田区横綱1-4-1

制作・印刷 株式会社D\_CODE



## 表紙解説

きまじがりずたこ まぎまきいっ  
紅葉狩図扇 鈴木真一/画江戸後期  
個人蔵(滴翠美術館寄託)

能「紅葉狩」に登場する鬼がつける般若の面を中央に配し、背景に紅葉と八重桜、鬼が持つ打杖を描く。赤地に金色の目や歯、藍の隈取り、打杖の緑が、鮮烈で強烈なインパクトを与えている。糸目そのまま残る江戸版である。

(学芸員 江里口友子)

